

第3次二宮町環境基本計画
前期実施計画（令和5年度）の進捗状況について

令和6年12月

二 宮 町

目次

I 第3次二宮町環境基本計画について	- 1 -
1. 計画期間	- 1 -
2. 望ましい環境像	- 1 -
II 計画の体系について	- 2 -
III 評価方法について	- 3 -
1. 評価方法	- 3 -
IV トコトンにのみやプロジェクト進捗状況及び評価	- 4 -
1. トコトン「行動の輪を広げよう！」プロジェクト	- 4 -
2. トコトン「地球にやさしくしよう！」プロジェクト	- 5 -
3. トコトン「まちを美しくしよう！」プロジェクト	- 7 -
V 令和5年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見	- 9 -

I 第3次二宮町環境基本計画について

1. 計画期間

第3次二宮町環境基本計画の計画期間は、令和5年度～令和14年度とし、本計画に基づく実施計画の期間は次のとおりです。

なお、令和5年度については、前期実施計画の初年度となります。

計画期間区分		対象期間
第3次 環境基本計画	前期実施計画	令和5年度～令和9年度
	後期実施計画	令和10年度～令和14年度

2. 望ましい環境像

緑と水辺、そして海が織りなす多様な自然といつまでも共生し、
環境づくりの輪が広がる美しいまち「にのみや」

第3次二宮町環境基本計画では、「町の望ましい環境像」を「緑と水辺、そして海が織りなす多様な自然といつまでも共生し、環境づくりの輪が広がる美しいまちにのみや」とし、それを実現するため、4つの基本目標を設定し、町民や地域、事業者、町がより一体になるとともに、あらゆる世代で手掛ける環境づくりを推進していくものとします。

基本目標

●自然環境

【基本目標】多様で誇れる自然がいつまでもそばにある「にのみや」の実現

●生活環境

【基本目標】まちがきらきらと美しい「にのみや」の実現

●地球環境

【基本目標】目指せ脱炭素！地球のためにみんなが行動する「にのみや」の実現

●活動の輪

【基本目標】あらゆる世代による環境づくりの輪が広がる「にのみや」の実現

Ⅱ 計画の体系について

「第3次二宮町環境基本計画」では、4つの基本目標を実現するため、11の取組目標を掲げ、それらを実現するため77の事業を設定しました。

そのうち、特に重要な14事業は、3つの「トコトンにのみやプロジェクト」に位置付け、毎年数値目標（指標）を用いて進捗管理をしてまいります。

基本目標	取組目標	事業数	
1. 自然環境 多様で誇れる自然が いつまでもそばにある 「にのみや」の実現	みんなが大好きな自然を守り、育てよう	8 (2)	12 (3)
	自然に生息する生きものを大切にしよう	4 (1)	
2. 生活環境 まちがきらきらと美しい 「にのみや」の実現	生活に息づくまちの風景を守ろう	4	26 (1)
	環境に配慮しながら快適性を高めよう	5	
	きれいで清潔なまちをつくろう	5 (1)	
	健やかな空気と清らかな水がある まちをつくろう	12	
3. 地球環境 目指せ脱炭素！地球の ためにみんなが行動する 「にのみや」の実現	地球のことを考えて身近なことから行動 しよう	10 (4)	30 (6)
	「つくる責任・つかう責任」を意識して、 もったいないをなくしていこう	6 (1)	
	環境に配慮したまちづくりを進めよう	14 (1)	
4. 活動の輪 あらゆる世代による 環境づくりの輪が広がる 「にのみや」の実現	より良い環境について考え、取り組む人 を育てよう	5 (3)	9 (4)
	手を取り合い、大きな輪となって豊かな 環境をつかみとろう	4 (1)	
総事業数		77(14)	

Ⅲ 評価方法について

1. 評価方法

「トコトンにのみやプロジェクト」に位置付けた特に重要な14事業は、毎年数値目標（指標）を用い、各事業の「達成状況評価」と「事業内容評価」の合計を5段階で評価し、各計画期間区分における計画推進の効果を簡易的に把握できるようにしました。

《前期実施計画における評価》

評価指標	
A	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 100%】
B	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 75～99%】
C	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 50～74%】
D	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 25～49%】
E	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 0～24%】

IV トコトンにのみやプロジェクト進捗状況及び評価

1. トコトン「行動の輪を広げよう！」プロジェクト ～基本目標の「活動の輪」にかかわる事業～

重点事業No.	重点事業	評価	
11	世界規模、地球規模での環境問題にかかわる教育・学習の推進	100%	A
12	環境に関する情報提供の推進	90%	B
13	体験しながら環境について学ぶ機会の創出	87%	B
14	環境への想いをつなぐ場づくりの推進	100%	A

基本目標「活動の輪」に係わる事業は全部で9事業あり、そのうちトコトンにのみやプロジェクトに係わる事業は上記4つの事業です。

No.11「世界規模、地球規模での環境問題にかかわる教育・学習の推進」及びNo.14「環境への想いをつなぐ場づくりの推進」については、いずれも数値目標を達成しており、事業内容も問題なく実施できていることから、評価を「A」としました。

No.12「環境に関する情報提供の推進」及びNo.13「体験しながら環境について学ぶ機会の創出」については、一部の指標において数値目標を達成していないことから、評価を「B」としました。今後は、情報提供の推進にあたって、通いの場等で開催する出前授業の参加者に町ホームページやfacebookの閲覧方法等を周知し、閲覧のさらなる促進を図ることで、閲覧者数の増加に努めるとともに、イベント開催時等の周知手段に本年度より新たに町が導入した「町公式LINE」を加える等、より効果的な情報伝達手段を試行することで新規参加者の割合増加に努めてまいります。

2. トコトン「地球にやさしくしよう！」プロジェクト ～基本目標の「地球環境」にかかわる事業～

重点事業No.	重点事業	評価	
5	町民の地球温暖化防止行動を促進	93%	B
6	子どもたちの地球温暖化防止行動を促進	100%	A
7	ハザードマップ・防災情報アプリ等の活用を促進	90%	B
8	熱中症対策の推進	100%	A
9	循環型社会の形成を目指した3 R・3 Sの推進	78%	B
10	公共施設における省エネ設備、再生可能エネルギーの導入	88%	B

基本目標「地球環境」に係わる事業は全部で 30 事業あり、そのうちトコトンにのみやプロジェクトに係わる事業は上記 6 つの事業です。

No. 6 「子どもたちの地球温暖化防止行動を促進」及び No. 8 「熱中症対策の推進」については、いずれも数値目標を達成しており、事業内容も問題なく実施できていることから、評価を「A」としました。

No. 5 「町民の地球温暖化防止行動を促進」及び No. 10 「公共施設における省エネ設備、再生可能エネルギーの導入」については、一部の指標において数値目標を達成していないことから、評価を「B」としました。今後は、町民及び事業者向けの啓発ポスター等を掲示する際は、より多くの町民の目に止まるよう町民センター等においての掲示も検討するとともに、今後予定している公共施設の改修工事では、照明の LED 化を優先としつつ、まだ LED 化できていない改修工事済みの公共施設については、適切な施工時期を見極めながら LED 化の推進に努めてまいります。

No. 7 「ハザードマップ・防災情報アプリ等の活用を促進」については、いずれも数値目標を達成しているものの、事業内容のうち、課題に対する対応が図れていないことから、評価を「B」としました。今後は、二宮町防災情報アプリ「ハザードン」の登録件数の伸び悩みに対し、継続してイベントなどで周知するとと

もに、より効果的な情報伝達手段を試行することで新規登録件数の増加に努めてまいります。

No. 9「循環型社会の形成を目指した3 R・3 Sの推進」については、一部の指標において数値目標を達成しておらず、事業内容のうち、費用対効果及び課題に対する対応が図れていないことから、評価を「B」としました。今後は、ごみ減量に向けたPRの実施回数及び情報提供ツールの種類を増やし、ごみの減量に関する意識向上に努めてまいります。

3. トコトン「まちを美しくしよう！」プロジェクト ～基本目標の「自然環境・生活環境」にかかわる事業～

重点事業No.	重点事業	評価	
1	吾妻山をはじめとする公園等の維持管理と運営を推進	84%	B
2	葛川の美化を推進	97%	B
3	生物多様性の保全を推進	90%	B
4	地域美化活動を推進	82%	B

基本目標「自然環境」、「生活環境」に係わる事業は全部で 38 事業あり、そのうちトコトンにのみやプロジェクトに係わる事業は上記 4 つの事業です。

No. 1 「吾妻山をはじめとする公園等の維持管理と運営を推進」及び No. 2 「葛川の美化を推進」については、一部の指標において数値目標を達成していないことから、評価を「B」としました。今後は、イベントの告知方法に町公式 LINE を活用するなど、より効果的な情報伝達手段を試行することで新規参加者の割合増加に努めてまいります。

No. 3 「生物多様性の保全を推進」については、いずれも数値目標を達成しているものの、事業内容のうち、課題に対する対応が図れていないことから、評価を「B」としました。今後は、イベントの告知方法に「町公式 LINE」を活用するなど、より効果的な情報伝達手段を試行することで新規参加者の割合増加に努めるとともに、事業の継続性の観点から事業形態等について検討し、より一層の事業の推進に努めてまいります。

No. 4 「地域美化活動を推進」については、いずれも数値目標を達成しておらず、事業内容のうち、課題に対する対応が図れていないことから、評価を「B」としました。今後は、事業の告知方法に「町公式 LINE」を活用するなど、より効果的な情報伝達手段を試行することで新規参加者の新規参加者の割合増加に努めてまいります。

<参考（総括）>

プロジェクト名	重点事業名	評価	
1. トコトン 「行動の輪を広げよう！」 プロジェクト	世界規模、地球規模での環境問題にかかわる教育・学習の推進	100%	A
	環境に関する情報提供の推進	90%	B
	体験しながら環境について学ぶ機会の創出	87%	B
	環境への想いをつなぐ場づくりの推進	100%	A
2. トコトン 「地球にやさしくしよう！」 プロジェクト	町民の地球温暖化防止行動を促進	93%	B
	子どもたちの地球温暖化防止行動を促進	100%	A
	ハザードマップ・防災情報アプリ等の活用を促進	90%	B
	熱中症対策の推進	100%	A
	循環型社会の形成を目指した3 R・3 Sの推進	78%	B
	公共施設における省エネ設備、再生可能エネルギーの導入	88%	B
3. トコトン 「まちを美しくしよう！」 プロジェクト	吾妻山をはじめとする公園等の維持管理と運営を推進	84%	B
	葛川の美化を推進	97%	B
	生物多様性の保全を推進	90%	B
	地域美化活動を推進	82%	B

V 令和5年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見

(令和6年11月11日)

<はじめに>

二宮町環境審議会では、「第3次二宮町環境基本計画（前期実施計画）」の令和5年度における進捗状況について審議し、以下のとおり意見を取りまとめましたので、今後の計画の推進にあたっては、当審議会意見に配慮され、改善に取り組んでください。

<令和5年度全体評価>

令和5年度の事業評価については、新規事業計画による初年度評価のため、前年度実績値との比較ができないものもあるため、数値目標の達成度を確認することができませんが、目標未達成の事業については、目標値の達成を望みます。

また、目標値を達成している事業においても、課題に対する対応が図れていない取り組みが散見されますので、PDCAサイクルによる進捗管理を図る際に課題に対する適切な改善を図られることを望みます。

なお、前期実施計画におけるトコトンにのみやプロジェクト指標は、インプット型の指標が中心となっていますが、後期実施計画では、町民・事業者にどのような「行動変化」があったのかを図ることのできるアウトカム指標の設定が望ましいと思いますので、どのような指標が適切かについて、早期から試行・検証し、検討していただきたいと思います。

<トコトンにのみやプロジェクト別意見>

1. トコトン「行動の輪を広げよう！」プロジェクト

各重点事業における評価の妥当性については、異論ありません。

一方で、各重点事業の総合評価に差があることから、今後更なるプロジェクトの推進が図られるよう、環境に係る出前講座に「千年にのみや地球会議」の開催を加えることや、環境問題について考えるきっかけの場をワールド・カフェに限定せず、様々な場づくりの創出に取り組むことを検討してはいかがでしょうか。

また、情報提供回数や新規参加者の割合の増加を目指すだけでなく、情報が正確に伝達されているか、どのような行動変化が生まれるかを意識した事業の展開ができないか試行・検証してください。

2. トコトン「地球にやさしくしよう！」プロジェクト

No. 8「熱中症対策の推進」の評価の妥当性については、熱中症対策を呼びかける情報提供回数が多いのにもかかわらず、熱中症による搬送患者数が増加し

ている状況で評価を「A」とすることに疑問を感じます。

また、No. 9「循環型社会の形成を目指した3R・3Sの推進」は、各重点事業の総合評価と差があることから、今後更なるプロジェクトの推進が図られるよう、循環型社会の形成を目指す「仕組みづくり」の創出にあたって、事業者と連携した施策を講じることができないか試行・検証してはいかがでしょうか。

3. トコトン「まちを美しくしよう！」プロジェクト

各重点事業における評価の妥当性については、異論ありません。

一方で、各重点事業の総合評価において100%を達成している事業がないことから、今後更なるプロジェクトの推進が図られるよう、啓発回数や新規参加者割合の増加による数値指標の達成を目指すとともに、継続可能な事業の「仕組みづくり」を検討してはいかがでしょうか。

また、情報提供回数や新規参加者の割合の増加を目指すだけでなく、情報が正確に伝達されているか、どのような行動変化が生まれるかを意識した事業の展開ができないか試行・検証してください。

第3次二宮町環境基本計画
前期実施計画（令和5年度）進捗状況一覧

No.	事業名	事業内容	担当課	R05事業計画	R05事業実績	数値指標
1	吾妻山をはじめとする公園等の維持管理と運営を推進	自然環境の保全と観光拠点としての調和を図るため、自然環境の保全・活用を念頭に置いた公園管理を行います。また、案内板やネームプレート等を活用することのほか、誰もが気持ちよく利用できる施設や設備の充実を図ります。	都市整備課	・自然環境を考慮した維持管理を行い、景観に配慮した案内板等を設置して動植物の保全に努め、二宮町の観光の代名詞である吾妻山公園などの花情報をホームページで適宜、開花状況等を随時更新する。	・花情報等の情報発信を計23回実施した。 ・花情報等のホームページ閲覧者数は、計39,623人であった。	①吾妻山、せせらぎ公園における、花情報等の投稿数 ②花情報等のサイトの閲覧者数（累計）
2	葛川の美化を推進	公共下水道の維持・管理や接続助奨に努めることともに、浄化槽の適切な管理を促すなど、葛川の水質向上に努めます。また、葛川にごみを捨てにくい環境づくりを目指すため、ボランティア団体や県等と連携し、ごみの回収や水生生物の生息状況を調査するとともに、清掃を行っている団体の活動紹介や葛川の魅力を発信していきます。	生活環境課	・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行う。 ・葛川をきれいにする会の活動について、広報紙やホームページで広く啓発を実施するとともに、環境団体と連携して、葛川に親しめるイベントを開催する。	・5月に生き物観察第1弾及びカメラ体験を実施し、8月に生き物観察第2弾及びいかだ体験を実施した。 ・新規申込者割合は69.2%であった。	①葛川をきれいにするためのイベント実施回数 ②葛川をきれいにするためのイベントへの申込み者のうち、新規参加者の割合
3	生物多様性の保全を推進	動植物との共生について理解を深めるための啓発を推進するとともに、特定外来生物の防除対策などを行い、生態系の保全に努めます。	生活環境課 都市整備課 産業振興課	【生活環境課】 ・葛川に親しもう会を通じて、動植物の保全に関心を持ってもらう。 【都市整備課】 ・二宮せせらぎ公園内の生態系の保全のため、生物の住環境を阻害しない公園の維持管理に努める。二宮せせらぎ公園でホタル観賞会を5月下旬から6月上旬の時期に7日間実施する。 【産業振興課】 ・田植え体験学習、稲刈り体験学習、椎茸植菌教室の開催及び関連団体との情報交換等により里山保全の意識を高めるとともに生態系の保全に努める。	【生活環境課】 ・5月にエコフェスタにのみや及び生き物観察第1弾を実施し、8月に生き物観察第2弾を実施した。 【都市整備課】 ・ホタルの観賞会を5月25日から5月31日までの7日間で実施した。 来園者数4,507人、ホタル出現数890頭 【産業振興課】 ・6月に田植え体験学習、10月に稲刈り体験学習、3月に椎茸植菌教室を実施した。	①動植物の保全に対するイベント実施回数 ②ホタルの観賞会の来園者数
4	地域美化活動を推進	個人やグループを問わず、地域内の美化活動をボランティアで行う方々に対し、ごみ袋の支給などといった支援を行っていくことで、地域美化活動の推進を図ります。	生活環境課	・個人や団体で実施される地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きの支援を行う。	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きを行った。 ・広報にのみや9月号の特集ページにおいて、地域美化清掃に関する記事内容を掲載し、町民へ利用促進を呼びかけた。	①地域美化清掃の人数 ②地域美化清掃の新規申込み者の割合

評価						課題	対応	
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・シバザクラ園の維持管理は、公園スタッフ及びボランティアに担っていたが、ボランティア活動は令和元年度より休止しており、維持管理を担う人手が不足している。また、シバザクラも寿命である5年を経過しているため、今後シバザクラを良好に育てることが困難である。 ・うさぎ園で飼育しているうさぎは残り1羽であり、今後、うさぎが0羽になった場合のうさぎ園のあり方が課題である。	・シバザクラ園の維持管理に係るコストを軽減するとともに、花木の植替え等を視野に入れて長期的に花木などが楽しめる園へのリニューアルを検討する。 ・うさぎ園を閉園することになった場合、遊具やトイレが近くにある立地の良さを活かした施設へのリニューアルを検討する。
30回	30回	30回	30回	30回	50%	50%		
23,000人	25,000人	27,000人	29,000人	33,000人	×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
23回					88%	80%		
39,623人								
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	44%	40%		
88%								
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	総合評価(A)+(B)			
80%					84%	B		
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・葛川に親しもう会は、リピーターが多く、新規申込者が増加していないことが課題である。	・参加者の募集は、チラシ配付や広報紙以外の方法を検討する。
3回	3回	3回	3回	3回	50%	50%		
80%	80%	80%	80%	80%	×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
4回					93%	100%		
69.2%								
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	47%	50%		
93%								
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	総合評価(A)+(B)			
100%					97%	B		
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	【生活環境課】 ・葛川に親しもう会は、リピーターが多く、新規申込者が増加していないことが課題である。 【都市整備課】 ・今後も天然のホタルが、自生できるよう、現状の維持管理形態を保持していくことが重要である。 【産業振興課】 ・里山体験用地（広場）及び田んぼは令和6年度末で賃貸人に返却するため、令和7年度以降の事業形態を検討する必要がある。	【生活環境課】 ・チラシ配付や広報紙への掲載以外の募集方法を検討する。 【都市整備課】 ・園内の維持管理は、現在の形態を保持しつつ、新しい手法の積極的な取り入れを検討する。 【産業振興課】 ・町が返却後の田んぼは、地元農業者が借りて稲作を継続する意向があるため、今後も体験学習が継続できるか検討する。
7回	7回	7回	7回	7回	50%	50%		
3,300人	3,300人	3,300人	3,300人	3,300人	×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
7回					100%	80%		
4,507人								
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	50%	40%		
100%								
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	総合評価(A)+(B)			
80%					90%	B		
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・地域美化清掃の規模が大きくなったり、回数が増えるほど、草葉の回収量も増えていくため、出来る限り枯らしてから出してもらう等の工夫する必要がある。	・地域美化清掃協議書の提出時に出来る限り、草葉を枯らして水分量を減らしてから出してもらうようにしたり、堆肥化してもらうようお願いする。
5,200人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人	50%	50%		
50%	50%	50%	50%	50%	×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
4,972人					84%	80%		
36%								
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	42%	40%		
84%								
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	総合評価(A)+(B)			
80%					82%	B		

No.	事業名	事業内容	担当課	R05事業計画	R05事業実績	数値指標
5	町民の地球温暖化防止行動を促進	環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通して、地球温暖化対策に資する行動を促進するため、意識向上を目的とした啓発を行います。	生活環境課	・気候非常事態宣言の発出に伴い、地球温暖化などの環境問題についてさまざまな媒体を活用し積極的な情報提供を行う。	・下記7種のツールを用いて情報提供を計75回実施した。 HP41回、広報紙10回、facebook4回、役場内インフォメーション7回、イベント3回、ポスター5回、チラシ5回 ・地球温暖化関連サイトページの閲覧者数は、計5,632人であった。	①情報提供回数 ②情報提供ツールの種類 ③地球温暖化関連サイトページの閲覧者数
6	子どもたちの地球温暖化防止行動を促進	幼少期からの環境意識や行動の定着を図るため、町内の保育園等や小中学校における資料配布、出前授業などの実施、また、さまざまなイベントや広報媒体を通してCO ₂ 削減に関する啓発を行います。	教育総務課、子育て・健康課、生活環境課	・保育園長会議等を通じて、環境イベントの周知を行う。 ・SDGsを推進するための啓発資料を小学校（4年生）に配布予定。 ・冬休みの宿題として、小中学校にマイエコ10宣言を配布する。 ・環境に興味・関心をを持ってもらえるような授業を実践していく。	【生活環境課】 ・出前講座は、幼稚園2回、保育園2回、小学校3回の計7回実施し、体験型未来づくり教室は1回実施した。 ・エコフェスタにのみや、ふるさとまつり及びワールド・カフェをそれぞれ1回実施した。 ・町内の小中学校でマイエコ10宣言の配布と回収を行い、丸を付けた数は小学生が10.6、中学生が9.7であった。 【教育総務課】 ・学習指導要領に基づき、理科や社会科等複数の教科で授業を実施した。	①中学生以下の子どもが参加できる環境イベントの実施回数 ②町内の小中学校で実施しているマイエコ10宣言で、児童・生徒が丸を付けた数の平均
7	ハザードマップ・防災情報アプリ等の活用を促進	災害時に正確かつ迅速に情報共有することを目的として、二宮町ハザードマップの活用や、二宮町防災情報アプリ「ハザードン」等の普及を促進します。	防災安全課	・各地区での自主防災訓練や総合防災訓練などの行事にて啓発を行う。 ・広報紙へアプリの紹介を掲載し、知名度を向上させる。	・上記計画のとおり周知活動を実施した。 ・ハザードマップを受け取りに来た方にチラシを渡し、周知を実施した。	①イベント等でのハザードンの普及PRの実施回数 ②ハザードンの普及数
8	熱中症対策の推進	クールビズやクールシェアの周知を図るとともに、町内で気軽に給水できるスポットを創出します。また、防災無線の活用や広報紙、ホームページ等により、熱中症予防に関する情報提供を行います。	子育て・健康課、生活環境課、消防課	・防災無線（熱中症警戒アラートが発表の際）の活用や広報紙、ホームページ等により、熱中症予防に関する情報提供を行います。 ・熱中症や熱中症疑いなど、救急需要に対する救急出動体制の確保に努め、県や町、子育て・健康課と連携を図り、熱中症の救急搬送者数の軽減を図る。 ・ウォータースタンドの周知に加え、熱中症予防についての啓発を行う。	【消防課】 ・熱中症予防に関するポスターを掲示し、普及啓発活動を実施した。 ・救急出動体制を確保することにより、熱中症を含む救急要請に対応した。 【生活環境課】 ・情報提供を広報紙2回、ホームページで1回実施した。 【子育て・健康課】 ・防災無線（熱中症警戒アラートが発表の際）の活用や広報紙、ホームページ等により、熱中症予防に関する情報提供を実施した。	①熱中症対策に資する情報提供回数 ②熱中症対策に資する情報提供ツールの種類 ③熱中症での救急搬送者数

評価						課題	対応	
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・ポスターやチラシは、役場地下1階の廊下や生活環境課窓口に展示したり配架しているが、人目につかないことが課題である。	・より多くの方が目に見えるよう、町民センター等での展示や配架を検討する。
55回	55回	55回	55回	55回	50%	50%		
10種	10種	10種	10種	10種				
15,000人	16,000人	17,000人	18,000人	19,000人				
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
75回					85%	100%		
7種								
5,632人								
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
85%					43%	50%		
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率				
100%					93%	B		
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	【生活環境課】 ・出前授業は各校等から要望があった場合に実施するため、事業の継続性に課題がある。 【教育総務課】 ・より効果的に環境問題について教育を実施するには、さらに教科を横断していく必要がある。	【生活環境課】 ・出前授業の実施について、園長会及び校長会で事業趣旨を説明し、適宜授業内容等の見直しをする。 【教育総務課】 ・環境問題は常に変化しているため、教員は新しい環境問題について把握し、授業を展開する。
7回	7回	7回	7回	7回	50%	50%		
10.2	10.4	10.6	10.8	11.0				
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
7回					100%	100%		
10.2								
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
100%					50%	50%		
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率				
100%					総合評価(A)+(B)			
					100%	A		
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・ハザードンの登録件数が伸び悩んでいる。	・旧来の周知方法を根強く継続するとともに、新たな周知方法について模索する。
20回	20回	20回	20回	20回	50%	50%		
1,500人	1,600人	1,700人	1,800人	1,900人				
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
30回					100%	80%		
1,773人								
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
100%					50%	40%		
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率				
50%					総合評価(A)+(B)			
					90%	B		
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	【子育て・健康課】 ・熱中症警戒アラートの発表は、基準に基づき発表されるため、令和5年度は連日発表されることとなり、同一の内容でも気温差が生じることが課題である。 ・熱中症警戒アラートの発表は熱中症予防の一つの目安であることを踏まえ周知が必要である。 【生活環境課】 ・適応策よりも緩和策を主とした取り組みを多く行っていることから、周知や啓発の回数に限られる。 【消防課】 ・救急需要は年々増加傾向にあり、熱中症予防の普及啓発活動に併せて、救急車の適正利用に関する啓発も展開する必要がある。	【子育て・健康課】 ・防災行政無線を含む注意喚起を行いつつ、通いの場などでも熱中症予防の普及啓発を実施する。 【生活環境課】 ・熱中症特別警戒アラートの実装に伴い、今後はクーリングシエルの周知等を実施する。 【消防課】 ・熱中症予防に関するポスターを掲示するとともに、イベント（救急フェア）において、救急車適正利用に関する展示を実施する。
24回	26回	28回	30回	32回	50%	50%		
6種	6種	6種	6種	6種				
9人	9人	9人	9人	9人				
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
29回					100%	100%		
7種								
12人								
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
100%					50%	50%		
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率				
100%					総合評価(A)+(B)			
					100%	A		

No.	事業名	事業内容	担当課	R05事業計画	R05事業実績	数値指標
9	循環型社会の形成を目指した3R・3Sの推進	ごみの排出や環境への負荷が少ない循環型社会を目指して、発生抑制（リデュース:Reduce）、再利用（リユース:Reuse）、再生利用（リサイクル:Recycle）の3Rに基づくごみ処理・リサイクル事業をより一層推進します。また、この3Rに加えて、廃棄物の発生抑制によって循環量を少なくするスモール（Small）な循環、できるだけ地域内循環を行って循環に伴う移動距離を短くするショート（Short）な循環、ものを大事に使いライフサイクルを長くするスロー（Slow）な循環の3Sを推進します。	生活環境課	・広報紙やホームページなどで啓発を行う。 ・環境出前授業で、身近な事例を取り入れながらごみの減量についての授業を行う。	・下記ツールを用いて情報提供を計33回行った。 HP22回、広報紙4回、Facebook3回、役場内インフォメーション2回、ポスター2回	①ごみ減量PRの実施回数 ②総排出量当たりの排出原単位
10	公共施設における省エネ設備、再生可能エネルギーの導入	公共施設は町民に対しての啓発拠点ともなるため、改修時などには、LED照明などの省エネ設備の導入を推進するとともに、老朽化した施設の更新や新設にあたっては、建物自体を環境配慮型にすることを基本とし、省エネ設備や再生可能エネルギーの導入を原則としていきます。また、町民や事業者へ省エネ施設、再生可能エネルギーの導入支援制度等の情報提供に努めます。	財務課、施設再編課	・百合が丘老人憩の家（新館）改築工事を実施し、LED照明を設置する。 ・下町老人憩の家耐震改修工事を実施し、既存照明をLED化する。	・百合が丘老人憩の家（新館）改築工事を実施し、LED照明を設置した。 ・下町老人憩の家耐震改修工事を実施し、既存照明をLED化した。 ・富士見が丘公会堂の建設は神奈川県との調整に時間を要したため、令和6年度事業となった。 ・地域集会施設の耐震改修工事は耐震工事がメインのため、建物の損傷箇所が多かった川勾老人憩の家は、既存照明のLED化までは実施できなかった。	①省エネ型施設、再生可能エネルギーを導入する施設数（累計） ②二宮町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく、二酸化炭素の排出量
11	世界規模、地球規模での環境問題にかかわる教育・学習の推進	保育園等や小中学校、あるいは生涯学習などの場において、子どもを対象とした地球温暖化防止や廃棄物の減量化等といった環境づくりに資する教育・学習を推進します。	生活環境課、教育総務課、子育て・健康課	・町内の保育園、幼稚園、小学校、中学校を対象に環境出前授業を行う。 ・保育所等における「未来づくり教室」の実施に向けた積極的な周知を行う。	・未来づくり教室は、出前授業を幼稚園、保育園、小学校を対象に計3回実施し、体験型未来づくり教室は1回実施した。 ・体験型未来づくり教室の申込者は13人あり、そのうち新規申込者は10人であった。新規申込者割合は76.9%	①環境に係る出前教室開催数 ②未来づくり教室申込み者のうち、新規参加者の割合
12	環境に関する情報提供の推進	ホームページ等の広報媒体やイベントなどを通して環境に関わる情報提供を推進します。また、将来を見据え、デジタル化を意識した情報提供の方法を随時検討します。	生活環境課	・気候非常事態宣言発出の発出に伴い、気候変動対策などについてさまざまな媒体を活用し、積極的な情報提供を行う。	・下記7種のツールを用いて情報提供を計152回行った。 HP101回、広報紙12回、facebook8回、役場内インフォメーション9回、イベント7回、ポスター9回、チラシ6回 ・環境情報関連サイトページの閲覧者数は、計39,678人であった。	①情報提供回数 ②情報提供ツールの種類 ③環境情報関連サイトページの閲覧者数（累計）

評価						課題	対応	
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・ 気候非常事態宣言の発出に伴い、気候変動対策の啓発に注力していたため、ごみの減量に関する啓発は目標値を下回ってしまった。	・ 広報紙やホームページ等を活用し、ごみの減量に関する啓発を実施する。
45回	45回	45回	45回	45回	75%	25%		
807グラム	803グラム	798グラム	798グラム	799グラム	×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
33回					84%	60%		
762グラム								
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	63%	15%	総合評価(A)+(B)	
84%								
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	78%	B		
60%								
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・ 地域集会施設の改修は、耐震化工事がメインである。その他の改修内容は、限られた予算の中で老朽化した施設の更新や地区要望に優先順位を付けて実施しているため、既存照明のLED化まで実施できない可能性がある。	・ 直管蛍光灯の生産終了が決定されたことも考慮し、今後の地域集会施設の耐震改修工事では、既存照明のLED化を優先するよう努める。 ・ 令和5年度の工事で既存照明のLED化ができなかった施設は、適切な時期にLED化工事を実施する。
6施設 1,724	8施設 1,661	10施設 1,598	12施設 1,535	13施設 1,472	75%	25%		
					×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
4施設 1,185回					83%	100%		
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	63%	25%		
83%					総合評価(A)+(B)		B	
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	88%			
100%								
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・ 出前授業は要望があった場合に実施するため、年によって実施回数に差が生じる可能性があることが課題。 ・ 体験型未来づくり教室は参加者数が少ないことが課題。	・ 園長会及び校長会において、出前授業の活用について周知する。 ・ 体験型未来づくり教室の開催チラシを配布する等、周知ツールを検討する。
4回 75%	4回 75%	4回 75%	4回 75%	4回 75%	50%	50%		
					×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
4回 77回					100%	100%		
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	50%	50%		
100%					総合評価(A)+(B)		A	
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	100%			
100%								
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	・ デジタル化を意識し、ホームページやfacebookでの啓発を進めているが、インターネットを使った周知方法ではご年配の方々には見てもらえないことが課題。	・ 通いの場での出前授業等のご年配に情報提供を行える機会にホームページの見方やfacebookの使い方やfacebookの活用を検討する。
100回 10種 58,000人	100回 10種 63,000人	100回 10種 68,000人	100回 10種 73,000人	100回 10種 78,000人	50%	50%		
					×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
152回 7種 39,678人					79%	100%		
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	40%	50%		
79%					総合評価(A)+(B)		B	
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	90%			
100%								

No.	事業名	事業内容	担当課	R05事業計画	R05事業実績	数値指標
13	体験しながら環境について学ぶ機会の創出	農業体験、生き物観察、未来づくり教室や環境ツアー等、子どもから大人まで誰もが環境について体験しながら学べる機会を作っていきます。	生活環境課、産業振興課	・二宮町の畑、樹園地等での農業体験学習を通じて、農業に関する興味関心を育むとともに、子供が農業について体験しながら学べる機会を作る。 ・広報紙やホームページなどに情報を掲載する。 アンケート調査を用いて、内容の見直しや質の向上を図る。	【生活環境課】 ・生き物観察2回、カヌー体験1回、530キャンペーンを1回実施した。 ・未来づくり教室は、出前授業を幼稚園2回、保育園2回、小学校3回の計7回行い、体験型未来づくり教室を1回実施した。 ・新規申込者割合は71.2%であった。 【産業振興課】 ・6月に田植え体験学習、10月に稲刈り体験学習、3月に椎茸植菌教室を実施した。	①環境保全活動体験型イベント等の実施回数 ②生活環境課主催の環境保全体験型イベントの申込み者のうち、新規参加者の割合
14	環境への想いをつなぐ場づくりの推進	各参加者が対話を通して、環境保全にかかわる「気づき」を得ることを目的とした「(仮称)二宮町の環境を考えるワールド・カフェ」を実施することで、環境保全行動に取り組む町民の拡大や行動する者同士をつなげていく場を創出していきます。	生活環境課	・二宮町の環境を考えるワールド・カフェを1回開催する。	・ワールド・カフェを1回実施した。 ・新規申込者割合は70.5%であった。	①二宮町の環境を考えるワールド・カフェの開催数 ②二宮町の環境を考えるワールド・カフェの申込み者のうち、新規参加者の割合

評価							課題	対応
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合	【生活環境課】 ・葛川に親しもう会は、リピーターが多く、新規申込者が増加していないことが課題である。 【産業振興課】 ・里山体験用地（広場）及び田んぼは令和6年度末で賃貸人に返却するため、令和7年度以降の事業形態を検討する必要がある。 ・ワールド・カフェの参加者はリピーターが多く、新規申込者が増加していないことが課題である。	【生活環境課】 ・チラシ配付や広報紙への掲載以外の募集方法を検討する。 【産業振興課】 ・町が返却後の田んぼは、地元農業者が借りて稲作を継続する意向があるため、今後も体験学習が継続できるか検討する。 ・参加者の募集は、チラシ配付や広報紙以外の方法を検討する。
8回	8回	8回	8回	8回	50%	50%		
80%	80%	80%	80%	80%				
					×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
8回					95%	80%		
71.2%								
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	47%	40%		
95%								
R05 事業内容評価	R06 事業内容評価	R07 事業内容評価	R08 事業内容評価	R09 事業内容評価	総合評価(A)+(B)			
80%					87%	B		
R05 目標値	R06 目標値	R07 目標値	R08 目標値	R09 目標値	達成状況 評価割合	事業内容 評価割合		
1回	1回	1回	1回	1回	25%	75%		
50%	50%	50%	50%	50%				
					×	×		
R05 実績値	R06 実績値	R07 実績値	R08 実績値	R09 実績値	数値指標 達成率	事業内容 達成率		
1回					100%	100%		
70.5%								
					達成状況評価 (A)	達成状況評価 (B)		
R05 数値指標達成率	R06 数値指標達成率	R07 数値指標達成率	R08 数値指標達成率	R09 数値指標達成率	25%	75%		
100%								
R05 事業内容達成率	R06 事業内容達成率	R07 事業内容達成率	R08 事業内容達成率	R09 事業内容達成率	総合評価(A)+(B)			
100%					100%	A		